

2023年11月28日

各 位

<不動産投資信託証券発行者名>

ジャパンリアルエステイト投資法人
代表者名 執行役員 加藤 譲
(コード番号 8952)

<資産運用会社名>

ジャパンリアルエステイトアセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 小島 正二郎
問合せ先 執行役員企画部長 元岡 将
TEL.03-3211-7951

サステナビリティ・リンク・ローンに係るフレームワークの 策定に関するお知らせ

当投資法人は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）におけるフレームワーク（以下「本フレームワーク」）を策定しましたのでお知らせいたします。

なお、本フレームワークに基づく調達として、本日付で公表いたしました「借入金の期限前弁済及び資金の借入（サステナビリティ・リンク・ローン）に関するお知らせ」及び「借入金の期限前弁済及び資金の借入（サステナビリティ・リンク・ローン）に関するお知らせ②」に記載の銀行（株式会社三菱 UFJ 銀行、株式会社中国銀行、株式会社埼玉りそな銀行及び株式会社北洋銀行）から本フレームワークを活用した資金調達を行っております。

記

（1）SLL とは

借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」）を設定し、貸付条件を SPT の達成状況に連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促進し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長を支援することを目指すものです。

（2）本フレームワーク策定の目的

SLL は、ローン契約毎に SPT の個別要件を調整・合意する必要があり、取組みへのハードルが高い傾向にあります。しかし、本フレームワークを通じて SLL 要件を統一的に定義し、今後のローン契約に適用することで、より機動的な SLL の実行が可能となります。今般、更なる SLL への取り組みの推進を企図し、本フレームワークを策定しました。

(3) 本フレームワークの概要

本フレームワーク(注)では、KPI、SPT及びローン特性を以下のように設定しています。

要素	内容	当投資法人の設定した内容
KPI	サステナビリティ戦略の指標	CO ₂ 排出量(総量ベース) 2019年度実績比削減幅
SPT	KPIに関する意欲的な目標値	2030年度CO ₂ 排出量削減目標： 80%削減(2019年度実績比)
ローン特性	SPT達成に応じたインセンティブ	SPTを達成した場合は適用金利引下げ

(注) 国際金融業界団体の APLMA (Asia Pacific Loan Market Association)、LMA (Loan Market Association) 及び LSTA (Loan Syndications and Trading Association) にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則 (2023年改定)」(以下、「SLLP」)、並びに、環境省にて策定された「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン (2022年版)」に適合するものです。

本投資法人は、株式会社日本格付研究所 (JCR) より、本フレームワークが SLLP 及び環境省ガイドラインの「サステナビリティ・リンク・ローンに期待される事項」に適合している旨の第三者意見書を取得しています (詳細は株式会社日本格付研究所のリリースをご確認ください)。 <https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

当投資法人では、今後もサステナビリティに配慮した資産運用を行います。当投資法人のESGに関する取り組みについては、以下のウェブサイトをご参照ください。

当投資法人ESG ウェブサイト： <https://jre-esg.com/>

以上